

令和6年度 スタディーツアー「本所防災館防災体験と本所消防署見学」を実施しました

1. 日 時: 令和6年12月14日(土) 13:00 ~ 16:00
2. 内 容: (1)本所防災館 防災体験
(2)本所消防署 見学
3. 会 場: 本所防災館及び本所消防署
4. 参 加 者: 29名(10か国・地域:中国14名、
マレーシア3名、イラン、ポーランド、ラオス、台湾 各2名、
インドネシア、チェコ、バングラディッシュ、ベトナム 各1名)

5. 実施状況:

スタディーツアーでは、外国人留学生に日本についての知識を深める機会を提供しています。

今回は、地震大国である日本で生活するにあたり防災意識を高めるためのスタディーツアーとして、本所防災館での防災体験と、防災館併設の消防署の見学を実施、外国人留学生10か国・地域、29名を引率しました。

本所防災館の防災体験のうち、自然災害コース(①シアター②地震③煙④暴風雨⑤都市型水害)を体験しました。②～⑤は3班に分かれて体験しました。

①シアター:シアタールームで日本の災害についての映像を約20分鑑賞しました。

②地震:パネルにて日本の地震及び地震から身を守る方法等の説明を受けた後、6名ずつ床が縦横斜めに揺れる装置にて、過去の震度7の地震を模擬体験しました。スクリーンには、倒壊するコンビニ店内や家屋の映像が映っていましたが、体験中は見ている余裕は全くありませんでした。

③煙:映像で火災の様子と火災から身を守り安全に脱出する方法の説明と、それを疑似体験することの説明と注意を受けました。6名ずつ煙の部屋に入り、隣の真っ暗な部屋を通過しもとの部屋へ戻り、全員脱出できたか人数点呼の重要性の説明を受けました。

④暴風雨:貸出しの長靴・カバー・レインコートの装着には中に水が入らないよう注意が必要で、説明を受けてから、注意しながら着用しました。暴風雨の体験の後、強風のみを体験しました。

参加学生より「このレインコートは一般市販されているか」との質問がありましたが、残念ながら一般市販はされていないとのことでした。

⑤都市型水害:映像で台風の様子と閉じ込められた場合の脱出方法の説明と、それを疑似体験する際の実験と注意事項を聞いた後、自動車運転席のモデルと外側へ押して開ける扉を、水が扉の上に10cm/20cm/30cm きているかを選ぶスイッチを各自で押し、開きにくさを体験しました。

本所防災館での体験終了後、隣の本所消防署を見学しました。

消防官から、消防車、はしご車及び救急車の特徴や装備等の説明を受け、酸素ボンベや防火服の試着をさせていただきました。

参加学生より、「装備の重量はどのくらいか」との質問があり、「いろいろあるが、防火服だけで20Kg程度」との説明がありました。また、「細い道で消防車が入れない場合はどうするのか」との質問があり、「小型の消防車もあるので道幅に応じて適宜対応」との説明がありました。

最後に、はしご車を消防署前に出していただき、集合写真を撮影しました。

日本の自然災害を疑似体験することで、日本の防災への備えがより理解できたようで、参加者満足度の高いイベントとなりました。

6. 参加者の感想

- ・シミュレーションの仕組みに驚いた、それはとてもかっこいい！
- ・さまざまな体験ができたこと、スケジュールがちょうど良かったことに加えて、消防署を訪問し、さまざまな消防車を見ることができたのも素晴らしかったです。
- ・日本の安全性システムを知ることができ、他の大学生と知り合うことができました。
- ・地震の体験はとてもよかったです。
- ・避難に関する多くの知識を学び、さまざまな災害状況を体験することができ、大変有意義でした。ぜひもう一度参加したいと思います。

7. スタディーツアーの様子



地震の体験



煙の体験



暴風雨



都市型水害



本所消防署車両説明



防火服の試着



集合写真

以上